



2022年3月11日

各 位

会 社 名 レオン自動機株式会社
代表者名 代表取締役社長 小林 幹央
(コード：6272 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員 管理統括部長
福田 忠男
(TEL. 028-665-1111)

(訂正・数値データ訂正) 「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」 の一部訂正について

当社は、2021年11月8日に開示いたしました「2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

当社は、当社の米国連結子会社の在庫残高の過大計上を行う不適切経理の存在を認識したことにより、2021年12月10日取締役会において、社内調査委員会の設置を決議し、調査を開始いたしました。その後、2022年1月6日取締役会において、より高度かつ客観的・中立的な調査が必要との認識に至り、第三者委員会の設置を決議し、同日より第三者委員会による事実関係及び件外事案の調査、連結財務諸表への影響の確定、原因分析が開始されました。

2022年2月28日に第三者委員会から調査報告書を受領し、2021年4月末以降製品及び材料が過大に計上されていたこと、また、2021年9月に売上が過大に計上されていたことが判明しました。

これらの訂正により、2021年11月8日に公表いたしました「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載事項の一部を訂正いたします。

また、訂正に際しましては、今回の調査の過程において新たに検出された事項の訂正も併せて行っております。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には___を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年11月8日

上場会社名 レオン自動機株式会社
 コード番号 6272 URL <https://www.rheon.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 幹央
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理統括部長 (氏名) 福田 忠男 (TEL) 028-665-1111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 2021年12月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	12,691	11.2	782	△26.3	830	△29.4	777	△49.0
2021年3月期第2四半期	11,415	△21.5	1,062	△44.1	1,176	△38.6	1,526	18.8

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 908百万円 (△39.4%) 2021年3月期第2四半期 1,500百万円 (31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	29.02	28.95
2021年3月期第2四半期	56.95	56.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	36,244	27,283	75.1	1,015.12
2021年3月期	34,124	26,632	77.8	991.12

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 27,210百万円 2021年3月期 26,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2022年3月期	—	8.00			
2022年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,290	18.0	2,010	43.2	2,110	30.0	1,560	△3.0	58.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細は、本日公表の「2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	28,392,000株	2021年3月期	28,392,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	1,587,040株	2021年3月期	1,593,686株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	26,801,123株	2021年3月期2Q	26,798,569株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の数値は、当社が現在入手している情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、本業績予想の数値と異なる場合があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年11月19日（金）に機関投資家及び証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。
当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う度重なる緊急事態宣言の発出により、個人消費や企業の生産活動は様々な制約を受けました。ワクチン接種の拡大により本格的な経済活動の再開が期待されましたが、複数の変異株の感染拡大に歯止めがかからず、夏場の天候不順の影響もあり、国内景気の低迷が継続しました。

海外経済におきましては、欧米諸国を中心に新型コロナウイルスワクチン接種の進展により経済活動は総じて回復に向かい、アジア地域では地域差はありますが、景気回復に合わせて設備需要が回復しました。一方で、中国の景気減速や世界的な資源価格の上昇によるインフレ懸念の高まりにより、依然として世界経済の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが主要市場とする食品業界は、新型コロナウイルス感染症の影響を引続き大きく受けました。「巣ごもり消費」需要の継続により、コンビニ・スーパー業界は堅調に推移しましたが、観光客の激減が続いた観光土産物業界や、営業自粛の状況が継続した飲食業界は厳しい状況が続きました。また、パン・菓子類の製造に不可欠な小麦粉やマーガリン等の価格高騰により製造原価が上昇し、商品価格の値上げの動きが見られるようになりました。

当社グループは、食の安心・安全へのニーズの高まりに対応すべく、レオロジー（流動学）を基礎とする独自の開発技術をベースに、安全面や衛生面の機能性を向上させるソフト技術を充実してまいりました。新型コロナウイルス感染症の影響が想定以上に長期間にわたり継続しておりますが、お客様や従業員の安全面を最優先に確保したうえでの営業活動を継続し、国内外の食品業界への提案を継続してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は12,691百万円（前年同四半期比11.2%増）、営業利益は782百万円（前年同四半期比26.3%減）、経常利益は830百万円（前年同四半期比29.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は777百万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、セグメント別の売上高は、連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前での販売費及び一般管理費から本社一般管理費を除いた数値を記載しております。

食品加工機械製造販売事業(日本)

日本国内では食品成形機、修理その他の売上が増加しましたが、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しました。

その結果、外部顧客に対する売上高は4,610百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。

セグメント利益(営業利益)は1,123百万円(前年同四半期比0.8%減)となりました。

食品加工機械製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、食品成形機の売上は減少しましたが、製パンライン等、修理その他の売上が増加したため、現地通貨ベースでは、前年同四半期比15.5%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円92銭から109円80銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は918百万円(前年同四半期比18.7%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は65百万円(前年同四半期比174.2%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(ヨーロッパ)

ヨーロッパ地域では、食品成形機、修理その他の売上は増加しましたが、製パンライン等の売上が減少したため、現地通貨ベースでの売上高が前年同四半期比0.7%減少となりました。

円ベースでは、円換算に使用するユーロの期中平均レートが121円29銭から130円90銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は1,818百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は236百万円(前年同四半期比36.4%増)となりました。

食品加工機械製造販売事業(アジア)

アジア地域では、製パンライン等、仕入商品の売上は減少しましたが、食品成形機、修理その他の売上が増加しました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

その結果、外部顧客に対する売上高は1,298百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は439百万円(前年同四半期比6.4%減)となりました。

食品製造販売事業(北米・南米)

アメリカ地域では、オレンジベーカリーの売上高が現地通貨ベースで、前年同四半期比42.2%増加となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、経済活動が回復し始めていることなどがあげられます。

円ベースでは、円換算に使用するUSドルの期中平均レートが106円92銭から109円80銭の円安となったため、外部顧客に対する売上高は3,810百万円(前年同四半期比46.0%増)となりました。

セグメント損失(営業損失)は129百万円(前年同四半期はセグメント損失10百万円)となりました。

食品製造販売事業(日本)

日本国内では、(有)ホシノ天然酵母パン種の外部顧客に対する売上高は234百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

セグメント利益(営業利益)は37百万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,219百万円増加し、19,180百万円となりました。これは、現金及び預金が1,361百万円増加、受取手形及び売掛金が494百万円増加、仕掛品が469百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて99百万円減少し、17,064百万円となりました。これは、ソフトウェアの減価償却費が増加し、無形固定資産が159百万円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,120百万円増加し、36,244百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,469百万円増加し、6,548百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が398百万円増加、前受金が756百万円増加、賞与引当金が145百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1百万円減少し、2,412百万円となりました。これは、長期借入金が130百万円増加、繰延税金負債が131百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,468百万円増加し、8,960百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて651百万円増加し、27,283百万円となりました。これは、利益剰余金が509百万円増加、為替換算調整勘定が75百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の決算発表時(2021年5月11日)に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2021年11月8日)公表いたしました「2022年3月期第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,484,219	8,846,136
受取手形及び売掛金	2,690,355	3,185,284
商品及び製品	4,170,084	4,362,497
仕掛品	975,989	1,445,174
原材料及び貯蔵品	328,369	417,524
その他	1,326,759	938,140
貸倒引当金	△14,548	△14,208
流動資産合計	16,961,228	19,180,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,017,115	15,190,455
減価償却累計額	△7,737,700	△7,957,479
建物及び構築物（純額）	7,279,414	7,232,976
機械装置及び運搬具	7,931,499	8,053,738
減価償却累計額	△6,380,314	△6,575,555
機械装置及び運搬具（純額）	1,551,185	1,478,182
工具、器具及び備品	1,924,816	1,937,714
減価償却累計額	△1,728,089	△1,765,518
工具、器具及び備品（純額）	196,726	172,196
土地	4,093,968	4,086,397
リース資産	45,286	45,286
減価償却累計額	△42,045	△43,352
リース資産（純額）	3,241	1,933
建設仮勘定	35,058	99,452
有形固定資産合計	13,159,594	13,071,137
無形固定資産	1,463,960	1,304,507
投資その他の資産		
投資有価証券	976,863	1,047,538
退職給付に係る資産	1,407,227	1,436,999
その他	161,992	208,185
貸倒引当金	△6,036	△4,043
投資その他の資産合計	2,540,046	2,688,679
固定資産合計	17,163,601	17,064,324
資産合計	34,124,830	36,244,874

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	740,599	1,138,715
短期借入金	734,006	829,490
リース債務	2,334	1,252
未払費用	587,624	546,395
未払法人税等	231,165	333,494
前受金	1,205,429	1,961,561
賞与引当金	485,486	630,816
役員賞与引当金	11,600	12,250
未払金	959,295	934,633
その他	121,154	160,020
流動負債合計	5,078,696	6,548,629
固定負債		
長期借入金	1,406,934	1,537,672
リース債務	1,154	815
繰延税金負債	573,083	441,521
再評価に係る繰延税金負債	347,422	347,422
資産除去債務	36,240	36,253
その他	48,705	48,558
固定負債合計	2,413,540	2,412,244
負債合計	7,492,237	8,960,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,351,750	7,351,750
資本剰余金	7,069,407	7,075,427
利益剰余金	14,591,084	15,100,947
自己株式	△773,996	△770,991
株主資本合計	28,238,245	28,757,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	345,996	390,913
土地再評価差額金	△1,708,996	△1,708,996
為替換算調整勘定	△466,919	△391,494
退職給付に係る調整累計額	151,997	162,807
その他の包括利益累計額合計	△1,677,921	△1,546,769
新株予約権	72,268	73,636
純資産合計	26,632,592	27,283,999
負債純資産合計	34,124,830	36,244,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	11,415,762	12,691,910
売上原価	6,310,686	7,290,153
売上総利益	5,105,076	5,401,756
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	21,535	66,649
荷造運搬費	356,909	670,021
貸倒引当金繰入額	5,744	678
販売手数料	232,946	255,970
給料及び手当	1,381,679	1,393,604
賞与引当金繰入額	277,339	358,584
役員賞与引当金繰入額	15,000	12,250
退職給付費用	90,693	76,333
旅費及び交通費	112,168	139,415
減価償却費	172,076	268,476
研究開発費	295,631	221,108
その他	1,081,317	1,156,352
販売費及び一般管理費合計	4,043,040	4,619,447
営業利益	1,062,035	782,308
営業外収益		
受取利息	1,930	2,254
受取配当金	12,253	11,264
物品売却益	4,358	8,081
為替差益	7,428	6,608
補助金収入	51,542	2,069
保険解約返戻金	—	2,287
電力販売収益	14,724	13,660
その他	38,025	26,427
営業外収益合計	130,263	72,652
営業外費用		
支払利息	8,119	6,593
固定資産売却損	29	7,321
電力販売費用	5,577	4,913
その他	1,601	5,331
営業外費用合計	15,327	24,160
経常利益	1,176,971	830,801
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	7,646	—
固定資産売却益	682,713	—
特別利益合計	690,360	—
税金等調整前四半期純利益	1,867,331	830,801
法人税、住民税及び事業税	22,112	246,602
法人税等調整額	319,155	△193,647
法人税等合計	341,268	52,955
四半期純利益	1,526,063	777,846
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,526,063	777,846

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,526,063	777,846
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,273	44,917
為替換算調整勘定	△69,866	75,424
退職給付に係る調整額	140	10,809
その他の包括利益合計	△25,451	131,151
四半期包括利益	1,500,611	908,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,500,611	908,997

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,867,331	830,801
減価償却費	477,732	558,525
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,242	△2,449
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△140,983	145,384
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,700	650
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	△7,646	—
受取利息及び受取配当金	△14,183	△13,518
保険解約返戻金	—	△2,287
支払利息	8,119	6,593
固定資産売却損益 (△は益)	△682,713	5,441
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2,273	△14,227
売上債権の増減額 (△は増加)	△999,653	△494,750
棚卸資産の増減額 (△は増加)	244,743	△734,308
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	48,943	175,623
未払費用の増減額 (△は減少)	127,015	△20,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△192,014	392,225
未収消費税等の増減額 (△は増加)	42,290	△88,971
未払消費税等の増減額 (△は減少)	67,773	48,994
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△430,491	798,869
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,755	△312
その他	20,540	24,757
小計	427,379	1,616,256
利息及び配当金の受取額	14,183	13,518
利息の支払額	△8,899	△7,235
法人税等の支払額	△323,586	△181,421
法人税等の還付額	571	300,132
営業活動によるキャッシュ・フロー	109,648	1,741,251

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△688,318	△342,160
有形固定資産の売却による収入	1,253,084	2,380
無形固定資産の取得による支出	△360,611	△7,178
投資有価証券の取得による支出	△3,927	△3,859
その他	△16,432	3,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	183,794	△347,254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	115,910	35,910
長期借入れによる収入	1,100,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△173,730	△160,231
リース債務の返済による支出	△3,743	△1,438
自己株式の取得による支出	△173	△347
配当金の支払額	△188,178	△268,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	850,083	△44,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,678	12,376
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,161,204	1,361,916
現金及び現金同等物の期首残高	4,820,663	7,484,219
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,981,867	8,846,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

新型コロナウイルス感染症による影響は現在も継続しており、景気動向への不透明感は依然として継続しております。

当社グループでは、業績は緩やかに回復すると仮定しているものの、収束時期の見直しには依然として不透明感が強いことから、今後も一定程度影響が続くとの仮定を置き、繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損損失計上要否等の会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期やその後の経済状況の回復に関する仮定について重要な変更はありませんが、仮定に変化が生じた場合には、将来における当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,842,622	774,437	1,696,682	1,260,124	8,573,865
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,368,586	61,462	—	—	1,430,049
計	6,211,208	835,899	1,696,682	1,260,124	10,003,915
セグメント利益又は損失(△)	1,132,696	24,005	173,367	469,772	1,799,842

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	2,609,760	232,136	2,841,896	11,415,762
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	23	23	1,430,073
計	2,609,760	232,159	2,841,920	12,845,835
セグメント利益又は損失(△)	△10,141	38,299	28,157	1,828,000

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、スペイン、フランス、オマーン、イタリア
- (3) アジア……………中国、タイ、韓国、インドネシア

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,828,000
セグメント間取引消去	59,361
本社一般管理費(注)	△825,326
四半期連結損益計算書の営業利益	1,062,035

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	食品加工機械製造販売事業				
	日本	北米・南米	ヨーロッパ	アジア	小計
売上高					
(1)外部顧客への売上高	4,610,215	918,884	1,818,206	1,298,794	8,646,101
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,830,736	19,905	—	—	1,850,641
計	6,440,952	938,790	1,818,206	1,298,794	10,496,743
セグメント利益又は損失(△)	1,123,165	65,813	236,510	439,883	1,865,372

	食品製造販売事業			合計
	北米・南米	日本	小計	
売上高				
(1)外部顧客への売上高	3,810,839	234,968	4,045,808	12,691,910
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,850,641
計	3,810,839	234,968	4,045,808	14,542,552
セグメント利益又は損失(△)	△129,639	37,973	△91,666	1,773,706

(注) 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米・南米……………アメリカ合衆国
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、イタリア、イギリス
- (3) アジア……………中国、韓国、台湾

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,773,706
セグメント間取引消去	△56,409
本社一般管理費(注)	△934,988
四半期連結損益計算書の営業利益	782,308

(注) 本社一般管理費は、当社の管理部門に係る費用であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品加工機械製造販売事業	食品製造販売事業	
食品成形機	3,092,514	-	3,092,514
製パンライン等	3,059,792	-	3,059,792
修理その他	2,317,443	-	2,317,443
仕入商品	156,145	-	156,145
その他	20,207	-	20,207
食品等	-	4,045,808	4,045,808
顧客との契約から生じる収益	8,646,101	4,045,808	12,691,910
外部顧客への売上高	8,646,101	4,045,808	12,691,910

(重要な後発事象)

該当事項はありません。